令和3年 4月

■一般書文学

「火喰鳥」

- ・ 著者：今村翔吾
- ・ 出版社：祥伝社

大御所作家が大勢を占める時代小説の分野に新星が登場しました。

かつて「火喰鳥」と呼ばれたが今は火消を辞めている源吾は、ぼろ鳶と蔑まれている火消組を率いることになりました。組を立て直すために奔走するさまや個性的な火消したち。算術にたけて容赦ない奥方深雪や源吾の過去。なんとも魅力的で、生き生きとした江戸という町の様子に引き込まれます。浪人暮らしの長い源吾に仕官の話がきた時の奥方深雪の一言には、思わず笑ってしまいます。

これが作者のプロデビュー作とのことで何ともすごい。シリーズ続行中なので、今後、長く楽しめます。

(対象 一般)

■一般書

「はじめまして現代川柳」

- ・ 編著：小池正博
- ・ 出版社：書肆侃侃房

現代川柳の作者 35 名の作品が収録されたアンソロジー。数多くの作品、作者による作風の違いが楽しめます。作者や作品についての解説ページもあるので、現代川柳に馴染みの薄い方も安心です。

編著者の小池正博さんは現代川柳を、一般的によく知られた新聞川柳やサラリーマン川柳などの川柳イメージとは少し違った、文芸としての川柳を志向する作品と定義しています。

さあ、本を開けばどんな世界が広がっているのか？はじめまして、ようこそ現代川柳の世界へ！

(対象 一般)

■児童書

「県知事は小学生？」

- ・ 作：濱野京子
- ・ 絵：橋はしこ
- ・ 出版社：PHP 研究所

航空事故に巻き込まれた政治家と小学生。目を覚ますと小学生の尊徳君の体に県知事の大井さんの意識が入り込み、数奇な生活が始まった。

たわいない子どもの会話から学級委員に立候補…とおもいきや、とんでもない行動に。政治に興味がなかった尊徳君は、選挙の実態に触れ、朝ご飯がない子どもがいること、母子家庭のこと、生活保護を受けられない方がいることなどと、政治と社会で考えることがたくさん出てきて…。

最近の日本の出来事を交えながら、政治のキーワードに触れています。民主主義、民意とは。この本を読み終えたとき、政治をするとき大事なことで何だろうと考えさせられる一冊です。

(対象 小学高学年から)

■絵本

「おしっこちょっぴりもれたろう」

- ・ 作・絵：ヨシタケシンスケ
- ・ 出版社：PHP 研究所

僕、ちょっぴりおしっこもれたろう。いつもちょっぴり漏れちゃうから、お母さんに叱られる。

だから、僕のように困っている人を探しに冒険に出かけよう。でも、困った顔をしている人に尋ねても、違うことで困っているって答えが返ってくるんだ。

ある時、僕と同じ悩みを抱えている子に出会って友達になった。おしっこけっこうもれたろう君だ。彼はいつも僕の気持ちを分かってくれた。なのに、引っ越しちゃって会えなくなった。寂しいな。しょんぼりして家に帰ると、おじいちゃんが優しく声をかけてくれた。「そんなことを気にせんでいい。実はわしは…。」おじいちゃんのほっこりする言葉に、思わずにっこりしてしまう結末です。

(対象 幼児から)